

北 総 の カ

～思いを伝えるチーム ほ・く・そ・う～



自分の考えや思いを主体的に表現し、協働的に学習できる生徒の育成 八街市立八街中央中学校の取組

「ちばっ子の学び変革事業」検証協力校である八街市立八街中央中学校の研究実践について紹介させていただきます。

八街中央中学校では、「自分の考えや思いを主体的に表現し、協働的に学習できる生徒の育成」という研究主題で研究をすすめています。特に数学では、「基礎・基本の定着を図り、自分の考えを説明できる生徒の育成」を努力点として取り組んでいます。

全国学力・学習状況調査の分析をしたところ、特に「関数」「図形」の領域で正答率が低く、また、記述式の問題については、昨年度より改善は見られるものの、全国平均、県平均と比べるとまだ解答率が低く、更なる改善が必要であることがわかりました。

そこで、生徒の理解を深めるために授業の中でICTを活用したり、記述力を高めるために定期テストで積極的に記述式問題を出題するという実践を行いました。

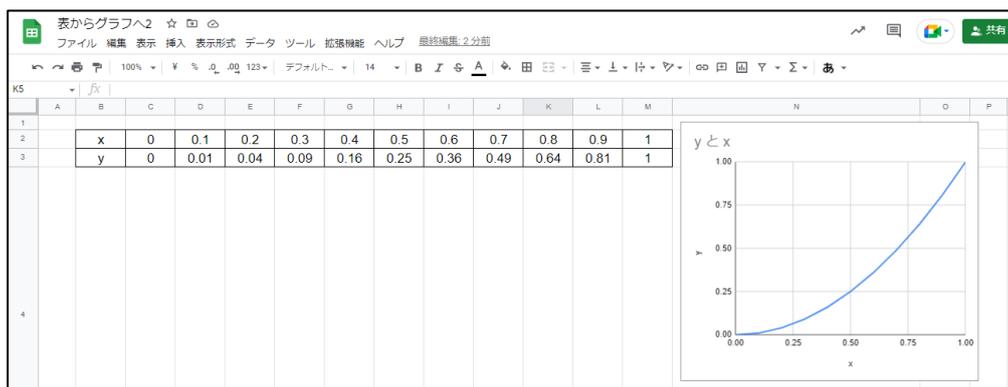
授業実践① 第3学年「関数 $y=ax^2$ 」(学び合いコース)

概要：三角形の形の変化、面積の変化を調べ、表、式、グラフに表す。

工夫：ワークシートにそれぞれの時間における三角形をかき、面積を求めることで変化の様子をつかみやすくする。また、一人一台端末を補助的に利用してグラフをかく際の参考にさせる(表計算ソフトを利用し、グラフ作成)。

成果：表計算ソフトの活用により、グラフが曲線になることを容易に確認できた。

生徒の作成した表・グラフの画面



授業実践② 特別支援学級「平行と合同」

概要：対頂角、同位角、錯角について理解することができる。

工夫：デジタル教材を利用し対頂角、同位角、錯角の位置関係を理解する。また、対頂角が等しくなること、同位角や錯角が等しくなる条件について理解する。

成果：発達段階や個の特性に応じて、デジタル教材を効果的に活用することで、対頂角、同位角、錯角について理解することができた。